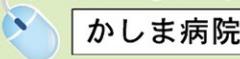


かしま HOT 通信

ホームページ <https://www.kashima.jp>

検索



スマートフォンをご利用の方は、

QRコードを読み取り、アクセスしてください。

PCサイトと同じ内容がご覧頂けます。

4月号

Vol.363

令和5年（2023年）4月1日発行

■編集/かしま病院広報企画室

■発行/社団医療法人養生会

〒971-8143

福島県いわき市鹿島町下戸持字中沢目22-1

tel.0246-58-8010(代) fax.0246-58-8088

ご意見・ご感想は...

上記住所へ郵便、またはE-mailでお送り下さい。

かしま病院広報企画室まで

kouhou@kashima.jp

卷頭特集

1-2

かしま病院の40年を振り返る
・かしま病院 あれから何年?
・永年勤続40年表彰者からの言葉

3

緩和ケア勉強会
「エンゼルメイク勉強会」実施報告

3

コラム ひんがら目(190)
『久しぶりに呼吸器学会
東北地方会に参加しました』
呼吸器科 部長 山根 喜男

4

ようこそ家庭医療へ!
リハビリPOST
第11回「かしまふれ愛さくら祭り」開催!
かしま荘通信



かしま病院

40th Anniversary

4月5日は、かしま病院の創立記念日で、今年で40周年という節目を迎えました。

当院は開設以来、「地域医療と全人的医療の実践」を理念に地域医療を続けてきました。次は創立50周年を目指してこれからも地域の皆様に寄り添い、地域医療に貢献していきます。



卷頭特集

かしま病院の40年振り返る

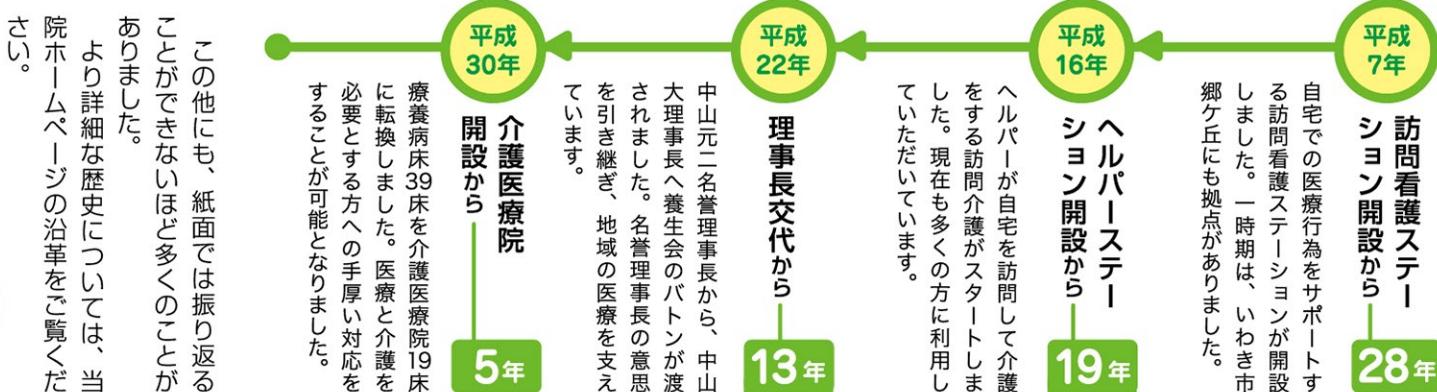
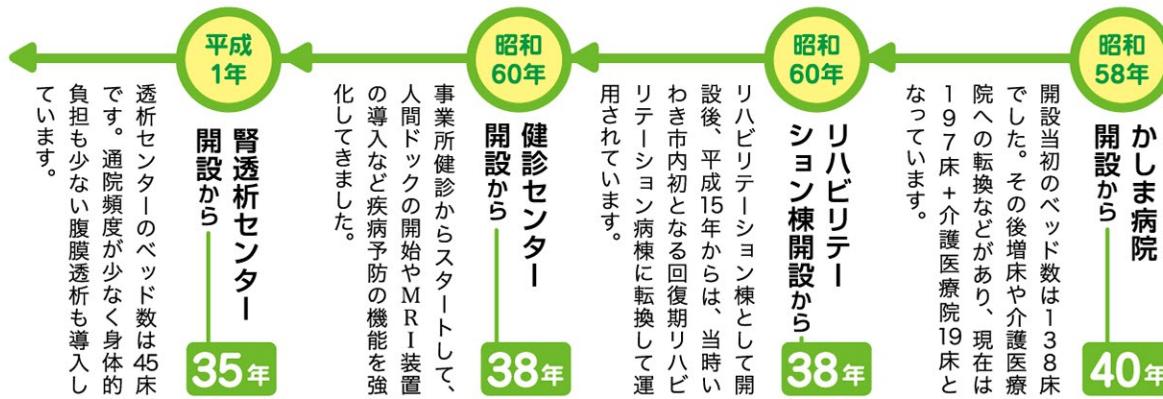
4月5日はかしま病院の創立記念日です。当院は昭和58年に開設して、今年で創立40周年を迎えました。今回はかしま病院の歴史の紹介と、40年勤務している方からのコメントを掲載します。

かしま病院 あれから何年?

40

年前に開設したかしま病院。
地域医療と全人的医療の実践

という基本理念は変わりませんが、
病院の機能や病床数などは、時代に
合わせて変化してきました。ここ
ではその一部を振り返ります。



永年勤続40年表彰者 からの言葉

かしま病院開設当初から勤務している職員が3名在籍しています。今回永年勤続40年の表彰にあたって、皆さんにコメントを頂きましてのでご紹介します。



診療部
名譽院長
渡辺 修

現在、NHK大河ドラマ「武田信玄と朝倉義景」が放映されていますが、人は誰にでも一生のうち 二度ずつは、という人生の分岐点が一度や二度はあると思います。

私の場合40年前がまさにその分岐点でした。

当時東京の検診施設に勤務していた私は関係者の取り計らいで、合わせて大学の医局に入局していました。大学医局より学位（博士号）を授与された私は臨床に戻ることを希望していましたが、当然のこととく医局より関連病院への勤務（いわゆる御礼奉公です）を紹介されましたが今一つつらくなり迷っていました。

でしたが）。隣の病院建設予定地はコンクリートの土台だけでした。その時の好印象により気持ちは大きくなりわきに傾きました。が難題は当時勤務していた施設と更には大学医園の説得でした。虚々実々をおりませ、喘息持ちの長女もダッシュにして教授や施設理事長を説得、渋々了解を得ました。が周囲からの冷たい視線を痛いほど感じていました。そんな経緯で昭和58年3月末にいわきに移転、4月5日のかしま病院開院に参加しました。

あれから40年、今では家族全員いわきが故郷になりました。振り返るといろいろな出来事が走馬灯のように思い浮かびます。各々の時代毎に貴重な出会いがありました。取り立てて秀でた技術・能力を持ち合わせているわけではない私がここまで来られたのは今まで出会った多くの人々の支えがあったからこそ、心底から思っています。40年前の選択は正しかった、と心より思っています。この度、編集部より与えられた

でしたが）。隣の病院建設予定地はコンクリートの土台だけでした。その時の好印象により気持ちは大きくいわきに傾きました。が難題は当時勤務していた施設と更には大学医局の説得でした。虚々実々をおりまぜ、喘息持ちの長女もダッシュにして教授や施設理事長を説得、渋々了解を得ましたが周囲からの冷たい視線を痛いほど感じていました。そんな経緯で昭和58年3月末にいわきに移転、4月5日のかしま病院開院に参加し

した。そんな時に”福島県のいわき“という所に地元の開業医が集まつて新しい病院を作る構想が進んでいました。昭和57年10月頃だったでしょうか、家族4人で下見にいわき

“あなた」と「かしこ病院」とは、
の答えで思い浮かぶのは「感謝」の
2文字です。

ヘ先日ご逝去された中山元二先生に謹んで感謝と哀悼の意を表します。▽



医療安全管理室
柴田 昭浩

昭和58年4月5日（火）に職昌院。67名、138床で開院したかしま病院。そこから10日後の4月15日（金）に開園した東京ディズニーランド。当時を振り返ると懐かしさと思い出がよみがえります。40年、長いですよね。ここまで辛いことも多くあったはずですが、不思議なもので良い思い出ばかりがたくさん浮かんできます。

私は新卒からお世話をなつております。現在は入職時、当たり前に日々の業務内容・マニアル・スキルアップ方法等が教示されますが、これら

創立40年記念日の佳き日にこの上うな賞を頂きありがとうございました。この受賞はこれまで仕事をしてきたことの証として、終生忘れる事のできない喜びを感じています。今まで40年の歳月を勤務できることは私ひとりの力ではなく、多くの上司の方や支えてくれた職場の

A portrait photograph of Miyoji Hayashi, a woman with short brown hair, wearing a dark blazer over a white collared shirt.

て忘れないことも沢山あります。その中でも、震災で水が出ない時期にお風呂を提供していただきたいことです。久しぶりのお風呂はとにかくありがたかったです。今でもあの時の温もりは忘れられません。

私はどうしてこの40年は仕事だけではなくギヨツと沢山の思い出と感謝の気持ちが詰まった充実した歳月をもつたと思います。これから先、50年、60年・・・と続していく養生生の未来に向けて、その礎を築いていくのだといふ自覚とともに、これららの職務に携わってうけたのと思します。

私は、入職してから今日までさまざまな業務を経験してきました。昨年11月15日に定年を迎えた現在は嘱託として託児所と社会保険等の業務を担当しております。

これまでの40年の歩みを振り返ると、平成18年4月に開所した託児所と、平成18年4月に開所した託児所と、

多くの皆様に心から感謝申し上げます。
私にとりて「かしま病院とは」を一言で表しますと、私の人生の軌跡そのものであり、何かしらかしま病院との繋がりがあります。これらは私の大切な財産です。

地域の皆様のための貢献は、面倒見の良いかしま病院として、これからも一つと一つと続きますように、これからもやさしくお腹にいいたします。

かしま病院の40年を振り返りました。これから10年、20年も、地域に必要とされる病院を目指していわき市の医療を支えていきます。

緩和ケア勉強会「エンゼルメイク勉強会」

実施報告

2月15日(水)に株式会社ヒュー・マックス様より講師をお招きし、エンゼルメイク勉強会を開催しました。エンゼルケアについての講義と、エンゼルメイクの方法を顔のマネキンとメイク道具を使い実践的に学びました。



Ⅰ エンゼルメイクとは、患者さんの逝去時に保清・更衣・顔のメイク、においへの配慮など全身の身だしなみを整えること言い、エンゼルケア（逝去時の看護）のひとつです。

勉強会には、病棟や訪問診療、透析センター、介護医療院といった様々な部署で勤務する看護職員が参加しました。

参加した職員は、顔のマネキンに丁寧にファンデーションを塗り、眉を整え、チークや口紅で血色を補うようにメイクをしていました。メイク後は、自然な血色が生まれ穏やかな表情になったと感じました。

エンゼルメイクのポイントは、患者さんとのお別れまでが、少しでも穏やかで、温かい時間となるように心掛けることだそうです。可能であれば、ご家族と一緒に口紅作りや血色付けを行うと、ご家族のグリーフケアにも繋がるとのことでした。

患者さんが亡くなった後であっても、エンゼルメイクを通してその人らしくいられるよう、最後まで綺麗にケアやサポートをする看護に、改めて看護の温かさを感じました。



久しぶりに呼吸器学会東北 地方会に参加しました

「口ナ禍のために、3年間ご無沙汰していました学会に参加してきました。専門医の資格をとるための点数を稼ぐためならオンラインによる参加もあったのでしょうか、学会はやはり生で発表者と聴衆の反応を観察することが有益です。

久しぶりなのか見慣れない若い先生方が多く、小著のような70歳を過ぎた方はほとんどいません。昨年、結核患者さんの件で相談に乗つて頂いた藤田総合病院のS先生を見つけてお礼を申し上げました。先生も数年で定年になりますが、ご多聞にもうです。嘱託で継続勤務する

そうです。どの病院も医師は増えていますが、我が国の医師数は増えている筈ですが病院の勤務医は増えています。県立医大の呼吸器内科のS教授を見つめましたので、いわき市医療センターの呼吸器内

科に常勤医を送つて下さいとお願いしましたが、いつもの如く「大学も人手不足です」と返されました。「県立医大は、県内の基幹病院の医療体制を充足させる責務があるのではないかと思われ、がっかりします。どんな時だって、人は余ってはいません。あるものをどうやり繰りするかです。例年は事前に抄録集が郵送されるのですが、今回は届きませんでした。IT化が進んだのか、会員にメールが送られ、抄録集は各自分が印刷して会場に持参しろとのこと。小さな地方会とはいっても印刷新数ページになりました。このプログラムを頼りに、2つの会場を移動して聴きたい演題を渡り歩きました。ところが、途中で口演中の演題の抄録が

見つかりません。受付に行き問い合わせたところ、小著が印刷した後に追加演題が加えられたとのこと。「それならそうと、受付に表示しておいて下さい」と苦情を申し上げました。主催の東北大呼吸器内科が、地方会を等閑視しているようで気分を害しました。

全国学会は最新の知見を発表し多くの人に知つて貰いキャリアアップするには有効ですが、地方会は旨みが少ないのかあまり参加者がいません。でも、小著にとっては、近場で東北大の先生方の日常診療がわかり、顔見知りになり、困ったときに相談できるのはどうせの先生なのかを見つけるには大切な機会だと捉えています。また、僅かとはいえ自分の経験を老若男女の先生方と共有するのも老医の務めとも思っています。

今回も、論点のずれた発表や、聴衆に解りづらい不親切な発表に対して、厚顔無恥を省みず数回質問や議論を吹っかけました。最近は、質疑の最初に「有益な発表ありがとうございました」などの前置きが入るのが通例で、甘い討論になりがちですが、さらなる発展のためにには鋭く切り込むことも大事です。

ひんがら目(190)

経験が十分にありそうな秋田大学のS先生の誇らしい発表に対しても補足発言をしましたところ、会が終わつてから、「大変貴重なご指摘がありがとうございました」とお礼の挨拶をうけました。老医のきつい戯言だったのではとの自責の思いが晴れてホッとしました。

東北大学呼吸器内科の幹事の先生が、「先ほどは大先輩の先生に失礼しました」と詫びて、訂正された抄録をプリント製本して座席まで持参して下さったときには恐縮しました。医局は異なりますが、わが母校にすぐすがしい誇りを覚え、「うるさいロートルの溜飲が下がりました」。

(呼吸器科 部長 山根 嘉男)

ようこそ 家庭医療へ!

～いわきに生きる家庭医育成への挑戦～

2023年3月16日、福島県立医科大学 医学部 地域・家庭医療学講座 葛西龍樹 主任教授退任前の最後の実践家庭医塾となりました。幸い、今回はオンラインではなくて、久しぶりの現地開催で、対面で直接ディスカッションすることができました。

メインプレゼンテーションでは、「はえぬき」の塾生であるおざかクリニック 小坂博美先生から、緩和ケアにおける医療連携の問題点について、鋭いご指摘とご提案がなされ、活発な意見交換の場となりました。議論を通して、がん治療のエキスパートと、患者のトータルケアのエキスパートである家庭医は、もっともっと互いの考え方や立場を理解し協働することが大切だと思いました。

セミナーの最後に、16年間の長きにわたってセミナーのスーパーバイザーを務めてこられた葛西教授から『医師は「癒すもの」でありながら、実はその行為により、逆に「癒されるもの」となりうる』というメッセージを頂戴しました。

患者さんから「癒し」をいただきながら、この仕事を長

第158回 第143回 家庭医療セミナーinいわき 「実践家庭医塾」

石井 敦 病院長



く続けて、自身を含む多くの人たちの「佳く生きること」に関わっていきたいと思います。

ひとりで途方に暮れていた16年前の私に、沢山の仲間と学びをもたらしてくださった葛西教授への、言葉にできないほどの謝意を、熱い「法要」じゃなくて「抱擁」で表し、丸い頭の団子3兄弟（教授、私、事務局としてセミナーを陰で支えてくれた井沢さん）で記念撮影しました。



かしま病院では、2008年度から家庭医を志す研修医や地域医療実習を行う医学を受け入れています。このコラムを担当する石井敦病院長は日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医として、研修医・医学生の指導を行っています。

リハビリ POST 第145回

有酸素運動

皆さんは普段どんな運動をしていますか？ 今回はウォーキングやジョギングなどの「有酸素運動」について解説します。

有酸素運動とは、長時間継続して行うことのできる負荷

の比較的軽い運動のことを言います。有酸素運動は、運動のためのエネルギーを、体内の糖質や脂質と酸素と一緒に使い作ります。そのため「有酸素」と呼ばれるのです。ちなみに、激しい運動は酸素を使わずエネルギーを作るため「無酸素運動」と呼ばれます。

有酸素運動の効果は様々です。運動により、心肺機能の改善やストレスの緩和が期待できます。また、有酸素運動は脂質を

消費するため、血中のコレステロール、中性脂肪や体脂肪の減少も期待できます。他にも、糖尿病を始めとする様々な生活習慣病の予防・改善に効果があります。

有酸素運動はどの程度の負荷で行うのがよいでしょうか？簡単に負荷を確認する方法があります。それは運動中に会話をする余裕があるかどうかで確認ができます。少し息が切れるけれども会話をする余裕がある程度の運動であれば、安全といわれています。ただ安全に運動を行うためには、医学的に運動の負荷、時間などを管理する必要があります。持病や体力の低下がある場合などは医療機関に必ず相談の上、運動を行うようにしましょう。皆さんも自分に合った適切な負荷の有酸素運動を無理せず続けて、健康の維持、増進をしていきましょう！

理学療法士 木村 謙佑



かしま荘通信

車椅子寄贈式

2月19日(日)



2月19日(日)、平工業高等学校生徒会様より、「青い鳥45号」となる車椅子を寄贈いただきました。皆様が空き缶やブルタブを地道に集められ、貴重な車椅子として施設に寄贈いただけた活動に感謝し、大切に使わせていただきたいと思います。毎年大変ありがとうございます。

第11回「かしまふれ愛さくら祭り」開催!



令和5年
4月9日(日)
10:00～16:00
エブリア北側駐車場

日時
会場

新型コロナが流行する前の2019年に開催して以来、4年振りに『かしまふれ愛さくら祭り』が開催されます。楽しいプログラムや出店もありますので、皆様ぜひお越しください！